

氏 名	木村 千恵子
学 位 の 種 類	博士（創造都市）
学 位 記 番 号	第 5655 号
学位授与年月日	平成 23 年 3 月 24 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項
学 位 論 文 名	産業活性化と産学連携に関する研究 ー米国とドイツの事例を通じてー
論文審査委員	主 査 教 授 中本 悟 副 査 教 授 森澤 恵子 副 査 教 授 明石 芳彦

論 文 内 容 の 要 旨

本研究は、産学連携が産業活性化に貢献しているアメリカとドイツの産学連携を分析し、日本における産学連携の課題を照射しようと試みたものである。

第 1 章では、アメリカの研究大学が業活性化において果たしている役割を明確にする。産業クラスター形成の成功事例としてシリコンバレーとサンディエゴを対象として、前者におけるスタンフォード大学、そして後者におけるカリフォルニア大学サンディエゴ校の役割を、OTL(技術移転機関)への現地調査を踏まえて明らかにした。

第 2 章では、アメリカの研究大学の諸特徴を検討したうえで、財政分析を行い、研究大学の競争力優位の源泉を解明する。それは、①政府のイニシアティブによる競争的資金の供給、②大学のガバナンスが効果的に機能し、競争的な組織体制を創出している、③それらを支える財政構造、だとする。アメリカの研究大学は、その役割を担うために自ら財政力を付け、強靱な企業体となっていることを明らかにした。

第 3 章では、産学連携が活発なドイツを取り上げ、大学と民間企業を繋ぐ組織である 2 つの研究所（フランホーファー協会とドイツ人工知能研究所[DFKI]）を事例研究する。その結果、①研究所への大学教授の深い関与、②学生のキャリアアップの場として魅力ある教育システムと研究システムの提供、③財政面における競争的支援と長期的展望に立った財政的支援の融合、④知的財産を多面的観点から産学連携の戦略ツールとして使う考え方の確立、といった諸特徴を析出した。そして、これらの研究機関を産業界と大学を繋ぐ「中間組織体」と位置づけ、その役割高く評価する。

そこで第 4 章では、第 3 章で事例としたドイツ人工知能研究所について、その制度を支える関係機関との契約書を分析し、「中間組織体」を成立させる諸条件を解明した。基本契約書（連邦政府、州政府、大学、ドイツ人工知能研究所間の契約書）および付属契約書（大学、ドイツ人工知能研究所間の契約書）について、①組織連携、②人材育成、③財政基盤、④知財戦略の観点から分析した。アメリカの研究大学と比べると、日本の大学はそれに比肩するような財政基盤をもっておらず、逆に財政基盤の弱い日本の大学にとって産学連携が大きな負担となってきた。本論文は、ドイツの産学連携における「中間組織体」を高く評価し、日本の産学連携に取り入れるべきとの政策を提言する。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

如上の問題意識と研究課題に立つ本研究は、以下のような意義をもつものとして高く評価できる。

第 1 に、産学連携の成功例として挙げられるアメリカとドイツの大学について、それぞれの成功要因を分析したことである。すなわち、アメリカの研究大学の強靱な企業体としての財政条件、ドイツの産業界と大学とをつなぐ「中間組織」の意義を明らかにした。とくに、ドイツの人工知能研究所の契約を分析し、大学、政府、産業界をつなぐ「中間組織」を成立させている諸条件を明らかにしてことは、先行研究ではない独自の意義がある。

第 2 に、研究方法としては、文献研究だけによらずに、アメリカの大学やドイツの研究所を現地調査したことも高く評価されよう。その結果、文献研究だけでは得られない、実態に関する貴重なヒアリング結果も散見される。

第 3 に、著者は長年、産学連携の組織作りに実際に携わっており、日本の産学連携の実態を踏まえて、まったく異なる条件をもつアメリカの研究大学の産学連携を導入することの問題点を明確にした。

そして、日本にとっては、既存の組織を活かしつつ産学連携を進めるためにはドイツのような「中間組織」を評価し、その創設を政策提言した点は政策研究として評価できる。著者の実務経験に根ざした研究として説得力を持つ。

以上のような成果の反面で、本研究は産学連携の成果である産業活性化についての独自の分析が不十分だという弱点がある。特許取得や供与状況、産業界に寄与する人材育成、産学連携からスピンオフした企業事例の紹介はあるが、まだ十分に分析されているとはいえず、今後の研究成果に待ちたい。

本論文は如上の弱点があるとはいえ、本論文著者は、その豊かな実務経験をもとに今後とも研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力を有していると確信する。よって審査委員会は、著者に対して博士（創造都市）の学位を授与するのが適切であると判断する。